

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2291400063		
法人名	(有)在宅支援センターふれあい		
事業所名	グループホームふれあい佐野		
所在地	静岡県裾野市佐野49-4		
自己評価作成日	令和3年 2月 15日	評価結果市町村受理日	令和3年3月22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyo-shizuoka.jp/kaigosip/Top.do">http://www.kaigo-kouhyo-shizuoka.jp/kaigosip/Top.do</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人静岡県介護福祉士会
所在地	静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階
訪問調査日	令和3年 3月 4日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

その人らしさや尊厳をしっかり維持していけるように、ご本人様やご家族様からご意向を伺う。ご利用者様が出来る事は可能な限りご自身でやっていただき、その方の持っている機能・能力を維持していくことができるよう意識してご支援している。職員だけがやるのではなくなるべくご利用者様にも日常の家事をお手伝いいただくよう言葉かけを行っています。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

幹線道路から少しわき道に入ると、のどかな風景が広がり、その一角に事業所は位置している。1階が小規模多機能ホーム、2階がグループホームで、交流と協力体制がある。利用者は日光浴を兼ねて広い駐車場内を散歩して、2階テラスで景色を眺めながらゆったり食事やお茶を楽しんでいる。利用者に寄り添う場面での約束事として、声掛けは「言葉がけ」、誘導は「ご案内」で統一している。法人理念である敬う心が事業所全体に浸透していることが窺える約束事である。今年度新たに法人内に相談窓口「aikoホットライン」を開設し、リスク管理にも備えている。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月の全体会議にて振り返りを行い理念に沿って行動できたかを確認している。	法人理念「敬愛・創造・貢献」に基づき、職員は想いやりを忘れずに笑顔で寄り添う事を意識している。年度目標である接遇マナーも毎月振り返りを行い、事業所全体で確認しながら前進している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ご利用者様と散歩し近所の方々と挨拶やお話をする等の交流を図っているが、昨年に比べコロナの影響で外出の機会は殆どなくなってしまっている。	通常は管理者が地域の防災訓練に参加しているが、今年度はコロナ禍により訓練自体が中止となっている。ごみ出しの際には、近隣住民と挨拶を交わしている。	近隣や地域関係者に対する事業所防災訓練への参加依頼を目標に挙げていたが、今年度は交流する機会がなかった。継続して協力体制を構築していく事が期待される。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	職員やご利用者様ご家族の知人に向けて介護相談や必要なサービスの提案を行った。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍で書面でのやりとりのみで運営推進会議としては開催できていないため意見交換を殆ど行っていない。	昨年9月より参集せず報告のみ行い、書面は全ての家族、市介護保険課、地域関係者に送付している。従来の内容に加え、新型コロナウイルスの影響や対応について詳細に報告している。	家族には会議の開催案内のみで出欠確認まではしていない。出欠票にコメント欄や簡易アンケートを添える等、家族が意見を述べる機会を増やすことが期待される。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地区に住む市議会議員さんや民生委員さんとも交流を持ち事業所の現状報告をしている。介護保険課には定期的に運営状況を報告している。	行政からの情報等はメールで届いている。運営推進会議への行政関係の出席者が市内でも地区によって異なり、当該事業所には介護保険課職員が毎回参加している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的な身体拘束に関しては職員も理解しているが、出入口、玄関に関しては離脱防止として施錠を行っている。	身体拘束適正化委員会の議題は法人から定期的に提案があり、取り入れて話し合っている。議事録から課題を抽出して取り組み、改善に繋げている。課題にはルールを決め、対応の統一化を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年2回企業全体の虐待研修と事業所での虐待研修を実施。また毎月の会議内で不適切な言葉かけや対応がなかったか振り返りを行い虐待防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	事業所での成年後見制度を利用しているご利用者様の事例を職員にも共有している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関してはご理解や納得を得られるように十分説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	伺ったご要望を要望提案書としてあげ対応した内容等を記載している。また運営推進会議でも質疑応答にてご意見を求めている。	コロナ禍で家族の不安が増し、面会に関する声が上がっている。法人の方針で面会緩和には慎重であるが、必要性があれば面会に応じている。パーテーションや空気清浄機を備えた面会室を用意している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議の前に議題や意見の抽出を行い、必要に応じて企業の本部機関へも情報提供を行っている。社内の悩み相談窓口が開設。新人職員に対し、定期的な第三者の面談を行っている。	提案等は全体会議の議題提案書に記入する機会がある。面会制限中の1階小規模利用者との交流について疑問の声が上がり、検討を行っている。支援についての要望等は、直接管理者に話せる関係性がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアパスにより個人の評価を数値化し適正な評価を行い、個別面談を通じて意見を抽出して労働環境整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々に必要な研修を内部・外部問わず参加してもらえるよう促している。また時には業務として会社が指定する研修に参加してもらう機会をつくっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の別事業所とリモート研修等で関わりを持っているが外部の方との交流は殆ど行っていない。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前には必ずご本人やご家族様、また担当ケアマネージャーや介護支援にあたった職員さんから話を伺いケアプランに反映しそれに基づく支援を行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	同上		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	同上		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様ができる事は可能な限りやっただきこちらからお仕事をお願いする事で生きがいを見出していただけるような支援を心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月写真付きのお便りでご様子をお伝えしている。リモート面会や感染予防を徹底しての面会も希望に応じて行っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族だけでなくご本人のご友人も面会に来ていただいたり、手紙のやりとりをお手伝いさせていただいている。	以前は家族との外出や自宅への外泊もしていたが、現在は面会も制限されている。1階小規模から2階グループホームに入居した人は、感染対策を徹底した上で1階の知人と交流することもある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が会話の橋渡しをしてご利用者様同士が仲良く過ごせるように関わりを持っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	移動先の施設や医療機関へ面会に伺ったり、利用終了した方のご家族様と、その後もメールのやりとりをさせていただいている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎月の会議内で個別ケアを話し合い、ご本人様のご様子や言動、行動を踏まえてケアの方向性を考えている。	かつて美術の先生であった利用者が寂しさや不安を訴えた際に、スケッチブックを用意したり誕生日にベレー帽を贈ったことで絵を描く意欲に繋がっている。家族に相談や確認を行い、実践に移している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者様の生活歴は個々に把握をし趣味嗜好等を踏まえてケアの方向性を考えている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者様のご様子や言動、行動、日々の変化を踏まえてケアの方向性を考えている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族の意向を確認し、時に主治医にも意見を求めてケアプランに反映している。	リーダー兼介護計画作成者が小規模のケアマネジャーと意向や状況の変化を話し合い計画を作成している。モニタリングは職員全員で行い、見直し期間は短期で半年、長期で1年である。家族への説明は現在電話で行い、同意を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個人記録や申し送りに記入し会議にてご様子の変化に対してのカンファレンスでケアの方向性を決め、ケアプランに反映できている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様のご要望をお聞きし、例え対応が大変な事であっても可能な限り実現できるように柔軟に対応するよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	理美容やマッサージ等ご利用者様のニーズ合わせて地元を中心に活動する方に訪問していただいている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には連携医が往診してくれますがご本人の状態や希望により外部への病院への受診も行っている。	利用者全員が協力医をかかりつけ医としており、月2回の定期往診がある。法人看護師が週1回巡回している。歯科医の定期往診は月1回希望者のみで衛生士によるクリーニングは週1回全員が行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	巡回看護師や医療連携先の看護師と連絡を取りご利用者様の状態等相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された場合の定期的な面会や医療ソーシャルワーカーとの連絡をとり情報共有をしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の段階で生前意向を確認しているが実際そのような時期が近付いた場合には再度ご家族様に意向を確認し、医師による説明も行っている。	この10ヶ月で2人の看取り支援を行っている。経験の浅い職員に対してフロア会議で勉強会を行い、職員全員で支援方法を共有している。勤務体制に早番・遅番がないため、日勤者が残業するなど夜勤者をサポートしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	あらゆる状況を想定とした対応マニュアルがあり研修や訓練を行う。またご利用者様の個々の疾患別に想定される状態変化等への対応の仕方を会議で共有している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防法に基づく訓練を定期で実施し避難誘導等の訓練も実践している。 地域との協力体制づくりを予定していたがコロナにより見合わせとなった。	法人がBCP計画(事業継続計画)を策定し、大規模災害時に備えて複合的な訓練に取り組み始めている。年2回の防災訓練で初期消火や通報訓練、夜間想定を実施し、火災時の待機場所を消防署に確認している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや対応について企業として改善に努めており、会議内で毎月振り返りを行っている。	元気で理解度が高い利用者が多く、特に言葉掛けに留意している。目線を合わせ足を止めて敬語で話したり、支援の際に理由を説明してから行動に移すなどを職員間で統一している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員本意ではなくご利用者様本意である事を常に念頭に入れ選択肢を提示する等努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員配置等で、お待たせしてしまったりする事もありますが、可能な限りご利用者様のペースで過ごしていただけるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日に着る洋服も可能な限りご利用者様に選んでいただいている。お化粧される方もおりご本人の嗜好品の化粧品を買ってくる等支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	可能な限りご利用者様に手伝っていただいたり、ホットプレート等で目の前で調理をしたり屋外で食べたりと工夫をしている。	食事は湯煎食品を提供している。天気の良い日はテラスで食事を摂り気分転換を図ったり、月1回のパンバイキングを楽しみにしている人が多い。テーブル拭きや下膳等の手伝いの他、月1回のおやつレクリエーションでは率先して調理を手伝う人もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、栄養が思うように摂取出来ない方は嗜好品等も用いて摂取していただけるように努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施している。 必要に応じて仕上げ等介助を行っている。 毎週歯科衛生士の口腔指導を受けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の間隔を表で確認しながら時間でトイレにご案内している。排泄の失敗も原因を探り、可能な限りご自身でトイレにて排泄を行えるように支援内容も検討している。	尿意を感じにくくなったり場所の認識が薄くなってきた人もいるが、状況の変化に合わせてご案内している。できる限り見守るが無理せず手を差し伸べている。オムツ類は無駄のないように適宜変更し、費用面の負担にも配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便が滞ってしまう方にはオリーブオイルやオリゴ糖を食事と一緒に提供したり腹部マッサージを行ったりしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	なるべく入りたい時に入浴していただけるように曜日や時間は決めず言葉かけをして入浴にお誘いしている。	週2回午前中に入浴している。強い拒否がある人はいないが、職員の言葉がけやご案内の仕方拒否に繋がることを踏まえて支援している。ヒートショック予防や乾燥肌対策にも留意している。お湯は常に循環させている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様の状態を見ながら午睡の時間をとったり、起床や就寝時間を変えている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容が変更になる度に申し送りノートに記載し状態変化等の注意事項を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の能力や趣味・嗜好をもとに役割をもってもらい、こちらからお願いする事で継続していただいている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出ができない分、ベランダや駐車場で外の気浴や散歩の機会を増やし対応している。気分転換にドライブにお連れしている。	事業所敷地内で積極的に外気に触れている。2階テラスはゆったり食事ができるスペースがあり、のどかな風景を堪能することができる。駐車場内は程よく歩くのにちょうど良い広さで、徐々に事業所周辺の散歩を増やしていく予定である。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	契約時に現金、貴重品類の持ち込みはご遠慮していただいているためご利用者様は原則現金を持ち合わせていない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯を持たれ、ご家族や友人と電話されている方もおり、手紙のやりとりも協力してご支援させていただいている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日々の清掃や壁画等を掲示して清潔感、季節感を視覚的にも感じていただけるよう努めている。	日中を居間で過ごす利用者がほとんどで、午前中に体操や風船バレーなどで体を動かし、午後は歌や塗り絵、季節の飾りの制作でゆったり過ごしている。換気は日に3回行い、消毒の手すり拭きを手伝ったり、花のプランターに水遣りをする利用者もいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事のテーブルも決まった自席を設けずにお好きな場所に座っていただくようにしている。また、ソファでテレビを見たりベランダのベンチでも寛げるような配置にしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際にご本人様の馴染みの物や使い慣れた家具などを持ち込んでいただくようにご案内している。	食後に昼寝をする人や鉢植えを持ち込んでいる人もいる。落ち着いた場所であるように、リラックス効果もある緑色にカーテンは統一し、定期的に洗濯をしている。衣替えは玄関で衣服を受け取り、職員が行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご自身で移動できる方の居室にわかりやすくお名前を大きく掲示させてもらう等工夫している。		